



G空間EXPO2026開催報告書

Exhibition Report

令和8年4月

G空間EXPO運営協議会



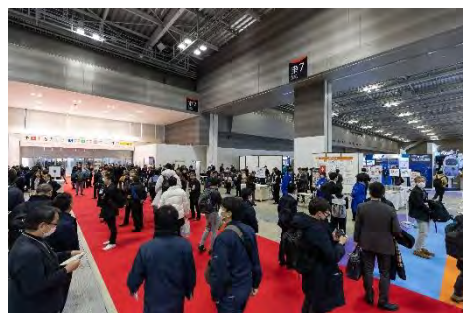
目次 Index

開催概要	… 1	出展者展示内容概要	… 9
統一テーマ等	… 2	出展者セミナー	…10
合同開会式	… 3	プレス来場一覧	…11
【G空間EXPO】ステージプログラム	… 4	主な広報宣伝活動／制作物	…12
【4展合同】ステージプログラム	… 5	掲載記事（一部抜粋）	…16
【G空間EXPO】併催企画	… 6	【G空間EXPO】来場者アンケート集計結果	…17
出展者一覧／会場MAP	… 8	会場風景	…21

開催概要等

開催概要

- 名称: G空間EXPO2026 Geospatial EXPO2026 Japan
- 会 期: 【リアル】 2026年1月28日(水)～30日(金) 10:00～17:00
【オンライン】 2026年1月21日(水)～2月13日(金)
- 会 場: 【リアル】 東京ビッグサイト 東7・8ホール
- 対象: 児童・生徒から社会人まで幅広い層/入場料無料（登録制）
- 主催: G空間EXPO運営協議会
構成員：(公社)日本測量協会、(一社)全国測量設計業協会連合会、(一社)日本測量機器工業会、(公社)日本測量調査技術協会、(一財)宇宙システム開発利用推進機構、(一財)日本情報経済社会推進協会、(一社)地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、国土交通省政策統括官付、国土交通省国土地理院、(国研)宇宙航空研究開発機構
- 共催: 日刊工業新聞社
- 来場者数 :26,659名（リアル）
46,594名（オンライン）
- 出展者数/小間数: 55社・団体/127小間



■統一テーマ

「地理空間情報科学で未来をつくる」

G空間EXPO開催の根幹的な意義を示す標語。2013(平成25)年度より掲揚。

■年次テーマ

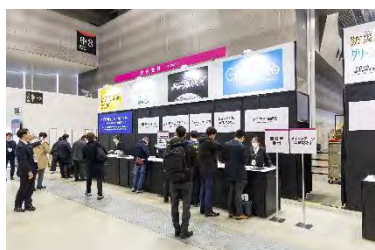
「G空間がつなぐ、広がる、未来が変わる」

統一テーマを踏まえつつ社会の流れや移り変わりに沿う時宜的な標語。

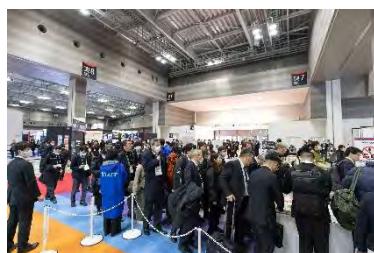
■タイトルロゴ



■キービジュアル



総合受付



リンクスペース



展示ブースの様子

合同開会式

- 日時: 1月28日(水)9:40～10:00
- 会場: 東京ビッグサイト 東新展示棟リンクスペース
- 登壇者:

来賓	国土交通省 総合政策局長
来賓	アメリカ航空宇宙局(NASA) アジア代表
共催	日本防災産業会議 会長
共催	グリーンインフラ官民連携プラットフォーム 会長
主催	内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 審議官
主催	内閣官房 地理空間情報活用推進室 室長
主催	国土交通省国土地理院 院長
主催	一般社団法人地理情報システム学会 会長
主催	公益社団法人日本測量協会 会長
主催	日刊工業新聞社 代表取締役社長

鶴田 浩久 氏
 Rebecca Levy 氏
 相澤 益男 氏
 西澤 敬二 氏
 渡邊 淳 氏
 佐々木 俊一 氏
 河瀬 和重 氏
 山本 佳世子 氏
 清水 英範 氏
 神阪 拓



内閣府
 宇宙開発戦略推進事務局
 審議官
 渡邊 淳 氏



内閣官房
 地理空間情報活用推進室
 室長
 佐々木 俊一 氏



国土交通省
 国土地理院
 院長
 河瀬 和重 氏



一般社団法人
 地理情報システム学会
 会長
 山本 佳世子 氏



公益社団法人
 日本測量協会 会長
 清水 英範 氏

宇宙と地球がつながるG空間社会の未来へ

- 日時: 1月29日(木)10:30~11:10
- 登壇者: 宇宙飛行士、国際社会経済研究所CTO、
IHIアカデミー長
野口 聡一 氏



国交省・「建築・都市のDX」の現在地 〜3Dデジタルツインの目指す未来〜

- 日時: 1月29日(木)11:30~12:30
- 登壇者:
1. 各局のアップデート情報の共有
 - ①政策統括官付地理空間情報課地理空間情報活用推進官 牟田 紀彦 氏
 - ②住宅局建築指導課建築デジタル係長 上原 翔 氏
 - ③都市局国際・デジタル政策課企画専門官 十川 優香 氏
 - ④不動産・建設経済局不動産市場整備課課長補佐 片田 一真 氏
 2. 民間企業にリアルな現場での活用場面や「建築・都市のDX」への期待
 - ⑤株式会社日建設計 テックデザイングループ BIMマネジメント部 アソシエイト 安井 謙介 氏
 - ⑥JR東日本コンサルタンツ株式会社 ICT事業本部 デジタルツイン事業部門 栗原 一行 氏



牟田 紀彦 氏



上原 翔 氏



十川 優香 氏



片田 一真 氏



安井 謙介 氏



栗原 一行 氏

「イチBizアワード2025」表彰式

- 日時: 1月30日(金)12:45~14:30
- 主催: 内閣官房 地理空間情報活用推進室
- 開会挨拶: 内閣官房地理空間情報活用推進室長 佐々木 俊一氏
- 来賓: 内閣総理大臣補佐官 宇野 善昌氏



宇野 善昌 氏



未来を拓く持続可能な社会のデザイン～防災×グリーンインフラ×宇宙×G空間技術の最前線

■日時: 1月29日(木)15:30～16:50

- 登壇者:
- 国立研究開発法人防災科学技術研究所 極端気象災害研究領域 水・土砂防災研究部門 副研究部門長/上席研究員 大型降雨実験施設研究推進室 室長 酒井 直樹 氏
 - パシフィックコンサルタンツ株式会社 社会イノベーション事業本部 環境共生部 自然マネジメント室 チーフコンサルタント 小笠原 奨悟 氏
 - 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター 技術領域主幹 川北 史朗 氏
 - 国土交通省国土地理院 防災・地理空間情報企画センター 地理空間情報企画課長 山崎 航 氏

【防災産業展】



酒井 直樹 氏

【グリーンインフラ産業展】



小笠原 奨悟 氏

【国際宇宙産業展ISIEX】



川北 史朗 氏

【G空間EXPO】



山崎 航 氏



Geoアクティビティコンテスト

地理空間情報を活用した独創的なアイデア、新たなサービス等を一般から広く募集し、優良事例を表彰するイベントです。1日2回行われる出展者によるプレゼンテーションの最終回と表彰式が行われました。プレゼンテーションは、選考を勝ち抜いた高校生・大学生から一般の方まで多様な10者が行います。また、G空間EXPO2026会場内に、出展者による展示ブースが常設されました。



作品名	出展者名
営農指導支援プラットフォームSATSOIL	株式会社SATSOIL
津波浸水3Dハザードマップと避難施設の地理解析	奈良大学 文学部 地理学科 阿野 翔斗、五十嵐 想、平松 大輝、中川 竜太、寺尾 康佑、杉浦 嘉文
地理空間情報を利用して描く『近未来の農業』 ～柑橘栽培におけるNDVI値による可変施肥の実用化を目指して～	愛媛大学附属高等学校 坂田 彩夏、楠本 百花、岡田 珠里
関ヶ原合戦地の歴史をWeb地図で可視化 ー 歴史学と地理情報学の融合 ー	関ヶ原町歴史民俗学習館サポータ『不破ふわ塾』 代表：木村 寛之
学生による福井空襲デジタルアーカイブ ～G空間情報で地域の戦争記憶を未来へつなぐ～	福井県立大学ジオアーカイブ
DiversDpMap2 ～バリアフリー防災ルート共有マップアプリ～	Divers Project&JST-SOLVE 高取PJ
ミエルカ ～ 特別支援学校に通うこども達の居住地等の見える化 ～	静岡県立浜北特別支援学校 校長 八幡 正信、 一般社団法人GIS支援センター 松村 一保
防災カードゲーム「私が来たからもう大丈夫！」研究報告 追加要素・高齢者編・地震、津波編開発について	宮崎県立門川高等学校 総合学科 地域防災班
「JRにちなび」佐土原高校とJR九州による日南線列車 運行情報アプリ開発	宮崎県立佐土原高等学校 情報技術科・産業デザイン科
歴史教育と地理教育を融合させるカラー3D立体地形教材を開 発するためのオープンイノベーション基盤の構築	玉川大学教育学部濱田英毅ゼミ with 工学部 デザインサイエンス学科メーカーズフロア

「第2回 国土交通省 地理空間情報データチャレンジ」表彰式・トークセッション

国土数値情報等のデータを活用し、不動産の売買価格推定モデルの精度を競いました。上位入賞者の表彰及び、不動産・建築分野のオープンデータ活用、デジタル推進の未来についてトークセッションを実施しました。

日時 1月28日（水）13：40～15：00

主催 国土交通省政策統括官付地理空間情報課

開会挨拶/表彰 内閣官房地理空間情報活用推進室長 佐々木 俊一氏



ミチセキアワード2025 ―地籍調査から始まる地域のミライ― 表彰式

効率的・効果的に地籍調査に取り組む地方公共団体や事業者などを表彰しました。

「ミチセキ」とは、「ミチ」と「地籍」を掛け合わせた言葉です。

これまで受け継がれてきた歴史を踏まえながら、新たなネットワーキングにチャレンジする、「未来志向の地籍調査」へとステップアップしていくため、気持ちを新たにに取り組むという思いが込められています。

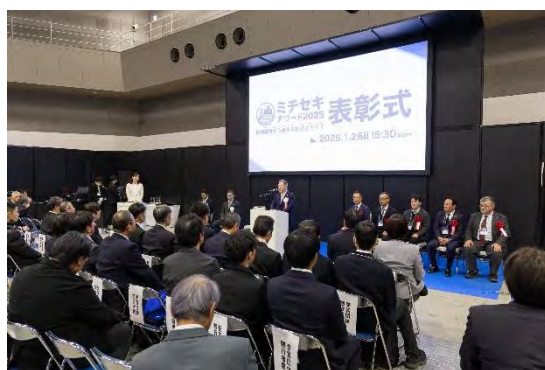
日時 1月28日（水）15：30～16：10

主催 国土交通省政策統括官付地理空間情報課地籍整備室

開会挨拶/表彰 国土交通副大臣 酒井 庸行氏



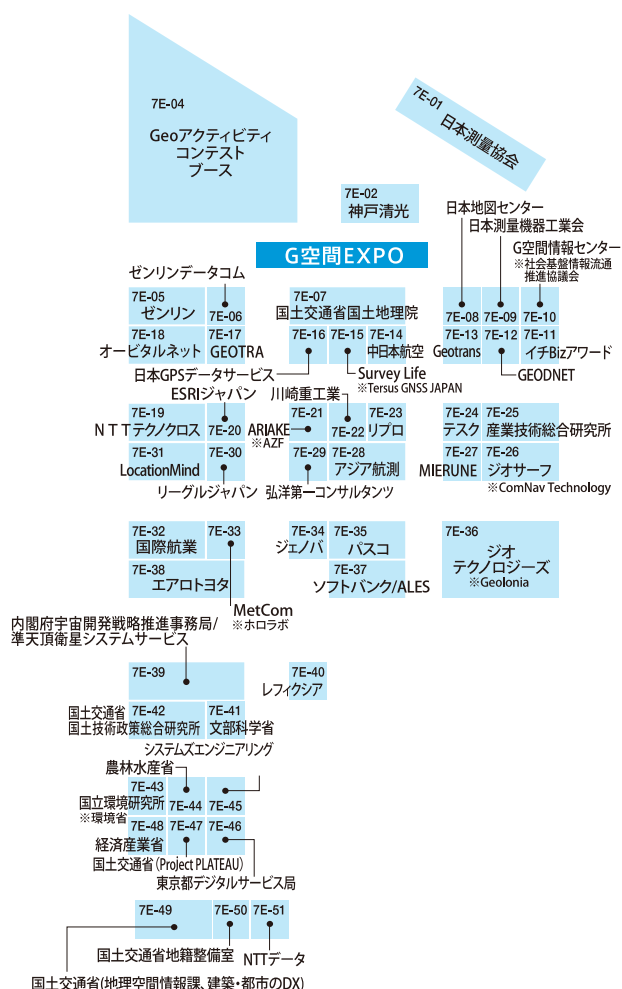
国土交通副大臣 酒井 庸行 氏



7E-28	アジア航測
7E-21	ARIAKE ※AZF
7E-11	イチ Biz アワード
7E-38	エアロトヨタ
7E-20	ESRI ジャパン
7E-19	NTT テクノクロス
7E-51	NTT データ
7E-18	オービタルネット
7E-22	川崎重工業
7E-48	経済産業省
7E-02	神戸清光
7E-29	弘洋第一コンサルタンツ
7E-32	国際航業
7E-42	国土交通省 国土技術政策総合研究所
7E-07	国土交通省 国土地理院
7E-50	国土交通省 地籍整備室
7E-49	国土交通省 (地理空間情報課、 建築・都市の DX)
7E-47	国土交通省 (Project PLATEAU)
7E-45	国土交通省 (歩行空間における移動支援サービス)
7E-43	国立環境研究所 ※環境省
7E-25	産業技術総合研究所

7E-15	Survey Life ※Tersus GNSS JAPAN
7E-10	G 空間情報センター ※社会基盤情報流通推進協議会
7E-34	ジェノバ
7E-26	ジオサーフ ※ComNav Technology
7E-36	ジオテクノロジーズ ※Geolonia
7E-12	GEODNET
7E-17	GEOTRA
7E-13	Geotrans
7E-05	ゼンリン
7E-06	ゼンリンデータコム
7E-37	ソフトバンク /ALES
7E-24	テスク
7E-46	東京都デジタルサービス局
7E-39	内閣府宇宙開発戦略推進事務局 / 準天頂衛星システムサービス
7E-14	中日本航空
7E-16	日本 GPS データサービス
7E-09	日本測量機器工業会
7E-01	日本測量協会
7E-08	日本地図センター
7E-44	農林水産省

7E-35 パスコ
7E-27 MIERUNE
7E-33 MetCom
※ホロラボ
7E-41 文部科学省
7E-30 リーグルジャパン
7E-23 リプロ
7E-40 レフィクシア
7E-31 LocationMind



出展者展示内容概要

小間番号	出展者名	出展内容
7E-28	アジア航測	航空レーザ計測、CIM・BIM、防災、その他
7E-21	ARIAKE	レーザースキャナーによる測量事例紹介など
7E-11	イチBizアワード	地理空間情報を活用したビジネスアイデアコンテスト「イチBizアワード2025」取り組み紹介
7E-38	エアロトヨタ	地理空間情報が拓く陸・海・空のデジタルフロンティアの紹介
7E-20	ESRIジャパン	あらゆる業務で地図を最大限に活用し、迅速かつ合理的な意思決定を実現する GIS プラットフォーム「ArcGIS」
7E-19	NTTテクノクロス	Slerとしてシステム開発実績から得た知見を元に、GISを活用したサービス・システム開発事例の紹介
7E-51	NTTデータ	NTT研究所が持つIOWN®技術など先進技術を活用し、4Dデジタル基盤®を構築し、既存の地図データと建物などの点群データを合成し統合することにより地図の精度を高めた。これにより、空間把握の制限などの技術的な課題を解決し、日本の国土をリアルタイムでデジタルツイン上に生成するとともに、即時にデータ更新・シミュレーションなどを可能なものとした。構築した4Dデジタル基盤®は、日本の国土の安全・安心につながる様々な分野でも活用をめざしており、AI学習用データ生成技術を活用した衛星データ画像解析技術については、様々な分野でのグローバル展開をめざしている
7E-18	オービタルネット	各種衛星画像の解析サービス（AIを用いた超解像、図化、単眼深度推定等）
7E-22	川崎重工業	mapxus Driven by Kawasakiは、高い精度で屋内位置情報を提供できる総合的デジタルソリューションであり、Wi-Fi環境があれば手軽に早く、既にショッピングモール、空港、病院など利用者へインタラクティブな屋内ナビゲーションの紹介
7E-48	経済産業省	空間情報プロジェクトについて、実装事例など
7E-02	神戸清光	XRGIDS社3DハンディレーザースキャナーLixel L2pro,Lixel K1,3DGSソフトLixel Cyber Color Studio,DJIドローン
7E-29	弘洋第一コンサルティング	弘洋第一コンサルティングは長年培ってきた測量・3D・GIS分野の技術力と建設分野のコンサル力を統合することにより、「地域活性化から社会に貢献する街のスペシャリスト」を目指しています。今回はその具体例としてMM S、S L A M、ドローンといった3D・点群データ計測と各種地図データを活用しながら多くの自治体にて安価でご利用いただける統合GISシステムの紹介
7E-32	国際航業	デジタルツインや3次元地形モデル、災害調査活動や宇宙分野の地理空間情報技術をご紹介予定
7E-42	国土交通省 国土技術政策総合研究所	流域デジタルツインの実験場「流域デジタルテストベッド」に関する展示（パネルやモニター（動画））
7E-07	国土交通省国土地理院	国土地理院施設紹介（国土地理院の責務、電子基準点、地理院地図等を予定）
7E-50	国土交通省地籍整備室	ミチセキアワード
7E-49	国土交通省（地理空間情報課、建築・都市のDX）	建築・都市のDXなどの施策内容に関するパネル展示等
7E-47	国土交通省（Project PLATEAU）	Project PLATEAUの全体像と最新活用事例の紹介
7E-45	国土交通省（歩行空間における移動支援サービス）	「歩行空間における移動支援サービスの全国展開・普及に向けて」本施策の直近の技術的な検討内容を踏まえ、今年度からは、全国各地域において、本施策に必要なデータの整備・更新・オープンデータ化・利活用の促進に力を入れております。本施策の主要なデータである歩行空間ネットワークデータとバリアフリー施設等データの全国的なオープンデータ化・利活用に向け、生成AIも活用した現在の取組内容の紹介
7E-43	国立環境研究所	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」（GOSAT）シリーズで見る地球温暖化
7E-15	Survey Life	本展示では、Survey Lifeが取り組む最新の空間情報技術と実運用を想定したソリューション。広域調査用ドローンの利活用では、広範囲を効率的に把握するための運用手法や取得データの活用事例を紹介し、災害対応やインフラ管理への応用を提案。また、GNSSを活用した高精度測位サービスとして、RTK等を用いたセンチメートル級測位の実現方法や、測量・建設・維持管理業務における活用シーンを具体的に解説。さらに、最新の三次元計測機器である「SLAM」および「UAVレーザ」を展示
7E-25	産業技術総合研究所	産総研が進めている人やモビリティ、ロボットの『移動』に着目したG空間に関する研究開発事例の紹介
7E-10	G空間情報センター	G空間情報センターは地理空間情報の有効活用と流通促進を行うためのデータ流通支援プラットフォーム
7E-34	ジェノバ	高精度GNSS補正情報配信サービス
7E-26	ジオサーフ	GNSS受信機、RTK受信機、モバイルGIS、レーザースキャンニングシステム、固定翼ドローン
7E-36	ジオテクノロジーズ	自治体・官公庁様を支援するために人流データ、地域にターゲットを絞ったアンケート、地図データをはじめ様々なソリューションを提案。主な取り扱いブランド Geolonia, MapFan, Geo-People, Geo-Research, GeoQuest Connect, 人流, トリマ
7E-12	GEODNET	drone, agriculture, automotive, robotics, RTK, GNSS, Web2, Web3
7E-17	GEOTRA	GEOTRAは、携帯電話GPSデータをもとに、GEOTRA独自の「合成データ技術」により生成される、ひとりひとりの移動が分析可能な非集計トリップデータを提供しています。ブースでは、人流データ分析・可視化プロダクト「GEOTRA Activity Data」とシミュレーションツールの概要・デモンストレーション
7E-13	Geotrans	
7E-05	ゼンリン	「G空間がつなぐ未来」をキーワードに、高度な地理空間情報による都市・地域課題の解決に向けた最新取り組みを展示。精度向上の取り組みや、官民・自治体連携による社会価値創出など、スマートシティを支える基盤情報とその実用例の紹介
7E-06	ゼンリンデータコム	①Area Marker（多拠点の情報を地図で一元管理）②位置情報ビッグデータ活用支援
7E-37	ソフトバンク/ALES	ソフトバンクは、人工衛星を利用した低コストな高精度測位サービス「ichimill（イチミル）」を法人のお客さま向けに提供
7E-24	テスク	現地調査の効率化アプリ【Genchmark（ゲンチマーク）】を展示予定
7E-46	東京都デジタルサービス局	東京都デジタルツイン実現プロジェクトの紹介（紹介動画放映、プロジェクト概要説明、3Dビューア実機操作など
7E-39	内閣府宇宙開発戦略推進事務局/準天頂衛星システムサービス	日本版GPS「準天頂衛星システムみちびき」の概要、および、対応する製品やサービスの紹介
7E-14	中日本航空	「空・陸・水」の計測技術で、社会の未来を創る高精度な空間情報ソリューションを提供
7E-16	日本GPSデータサービス	高精度GNSS測位（RTK・GNSS測位、PPP-RTK測位など）のためのGNSS補正データ配信サービス
7E-09	日本測量機器工業会	一般社団法人 日本測量機器工業会の 紹介
7E-01	日本測量協会	日本測量協会の業務・活動紹介、日本測量協会刊行図書や地理空間情報関連の図書の展示
7E-08	日本地図センター	大型タッチディスプレイ・時層地図の展示、地図及び関連図書・グッズの販売
7E-44	農林水産省	農林水産業におけるG空間の活用に関して
7E-35	パスコ	①スマートシティ・3次元関連 ②オウンドメディア「地球の学校」などを予定
7E-27	MIERUNE	要件定義から開発まで伴走するソリューション開発、QGISを活用するためのプラグイン（拡張機能）開発や公式プログラムに則った研修事業など
7E-33	MetCom	三次元人流ビッグデータで高さを活用した、階層分離の技術と技術の実用化について
7E-41	文部科学省	JAXAの地球観測衛星の紹介
7E-30	リーグルジャパン	地上型レーザースキャナー、UAVレーザースキャナー
7E-23	リプロ	測量用境界杭、情報杭、防災製品
7E-40	レフィクシア	cm級の高精度万能測量機LRTKとAR投影、3D点群スキャンによる現場DXシステム
7E-31	LocationMind	Geospatial Generative AIや、人流分析事例、信号認証対応GPS受信機ソリューションの紹介

セミナー会場1（東7ホール内） 定員：100名

日	時間	展示会	出展者名	タイトル
1/28 (水)	10:30-11:10	G空間	MetCom・ホロボ	『高さが分かる人流データ』三次元人流データを活用した課題解決の最新状況
	11:30-12:10	G空間	ジオテック/ロジーズ	デジタルツイン基盤を使って取り組む自治体最前線
	12:30-13:10	グリーン	青葉組	森でつくる企業価値:ESGを超えた“共創投資”という選択肢
	13:30-14:10	防災	パナソニック日本総務部	『企業防災』はいかにあるべきか ～その究極目標に迫る～
	14:30-15:10	G空間	LocationMind	地理空間AI・リアルタイム・位置情報セキュリティ
1/29 (木)	15:30-16:10	グリーン	三井住友海上火災保険	気候変動時代の地域防災力向上と企業が果たすべき役割
	10:30-12:30	グリーン	SIPグリーンインフラ研究プロジェクト	データ・技術から進めるグリーンインフラの実践
	12:40-13:10	グリーン	SIPグリーンインフラ研究プロジェクト・土木学会	グリーンインフラとグレーインフラの融合に向けた課題と展望
	13:30-14:10	G空間	ゼンリンデータコム	人流データを活用したイベント分析と経済効果の最大化に向けて
	14:30-16:30	グリーン	グリーンインフラ・ネットワーク・ジャパン (GIJ)	グリーンインフラ学会設立シンポジウム
1/30 (金)	10:30-11:10	グリーン	日比谷アメニス	造園会社を取り組む!グリーンインフラの最前線
	11:30-12:10	防災	オートマイズ・ラボ	水門の後付け自動化・遠隔化 ―防災DXと水災害リスク軽減の推進―
	12:30-14:10	グリーン	マイナビ学生の窓口	マイナビ学生の窓口 presents 未来の社会をつくる仕事とは? ―グリーンインフラ産業で広がるキャリアの選択肢―
	14:30-15:10	防災	ニッタン	業務改革×災害対策⇒費用対効果で選ぶ防災クラウド最前線～

セミナー会場2（東8ホール内） 定員：100名

日	時間	展示会	出展者名	タイトル
1/28 (水)	10:30-11:10	宇宙	システムズエンジニアリング	校正ライフサイクルによる地球観測衛星データの精度向上
	11:30-13:10	G空間	内閣府宇宙開発戦略推進事務局/準天頂衛星システムサービス	準天頂衛星システム「みちびき」早期の7機体制実現を目指して～日本のG空間インフラの「安全・安心」を支えるサービス～
	13:40-15:00	G空間	国土交通省 政策統括官付 地理空間情報課	「第2回 国土交通省 地理空間情報データチャレンジ」表彰式・トークセッション
	15:30-16:10	G空間	国土交通省 地籍整備室	ミチセキアワード2025―地籍調査から始まる地域のミライ― 表彰式
1/29 (木)	10:30-11:10	G空間	国立環境研究所	温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズで見る地球温暖化
	11:30-13:10	宇宙	日欧産業協力センター	ヨーロッパ宇宙産業ピッチセッション & ルクセンブルク宇宙セクターの概要
	13:30-14:10	G空間	GEOTRA	人流データ活用の最前線 2026
	14:30-15:10	G空間	ジオサーフ	高速×高精度×高色彩：ComNav LS600の全方位性能を体感
	15:30-16:10	G空間	国土交通省 国土技術政策総合研究所	流域デジタルテストベッド始動!～流域デジタル実験場の未来～
1/30 (金)	10:30-11:10	宇宙	北九州宇宙ビジネスネットワーク	北九州宇宙ビジネスネットワークのご紹介
	11:30-12:10	G空間	G空間情報センター	G空間情報センター10年の歩み ～G空間情報センター・AIGIDご紹介～
	12:30-13:10	G空間	オービタルネット	衛星画像即時マッピングサービス (AlaaS) の実現に向けて
	13:30-14:10	宇宙	清水建設	人材×投資×情報で拓く宇宙事業戦略
	14:50-16:10	G空間	国土交通省 国土地理院	Geoアクティビティコンテスト



社名	媒体名・番組名
アイティメディア株式会社	BUILT
朝日新聞社	朝日新聞
株式会社アフネ計画	Yahooニュース特集など
移動経済総合研究所	MOTORCARS
株式会社エスペランサデザインオフィス	文化シャッター様動画撮影
MS&ADビジネスサポート株式会社	三井住友海上HP
オプトロニクス	オプトロニクス
化学工業日報社	化学工業日報
一般社団法人共同通信社	配信記事
共同通信社	共同通信加盟地方紙へ配信
クラフトバンク株式会社	クラフトバンク総研
株式会社グリーン情報	グリーン情報
グローブコム株式会社	展示会ドットコム
株式会社クロスアーキテクト	SpaceStep
株式会社警備保障新聞新社	警備新報
株式会社月刊ガソリンスタンド社	月刊ガソリン・スタンド
建設工業調査会	ベース設計資料
株式会社建築資料研究社	庭
建築資料研究社	住宅建築
株式会社国際農業社	農村ニュース
有限会社サン・ネット	パーキングプレス
産業新聞	日刊産業新聞
産業タイムズ社	工場計画情報
CQ出版	Interface
自営業	自己防災マニュアル
JCOM株式会社	ジモトビックス・プラス
時事通信社	地方紙ファミリー欄
株式会社時報社	ガラス・建築時報
株式会社新農林社	新エネルギー新聞
世界日報社	世界日報
一般社団法人地図調製技術協会	地図ジャーナル
ティー・ディー・シー	産業情報いわて
鉄鋼新聞社	鉄鋼新聞
テレビ朝日	グッド！モーニング
テレビ東京	ガイアの夜明け

社名	媒体名・番組名
株式会社展示会営業マーケティング	展示会ちゃんねる
株式会社電波新聞社	電波新聞
十勝毎日新聞社	十勝毎日新聞
有限会社日刊板紙段ボール新聞社	板紙・段ボール新聞
日刊建設工業新聞社	日刊建設工業新聞
株式会社日刊建設通信新聞社	建設通信新聞
株式会社日経BP	日経クロステック・日経コンストラクション
株式会社日経BP	日経クロステックアクティブ
日本経済新聞社	日本経済新聞
日本電気協会	電気新聞
株式会社日本ビル新聞社	日本ビル新聞
日本物流新聞社	日本物流新聞
株式会社日本屋根経済新聞社	日本屋根経済新聞
株式会社ネクストパブリッシング	GIS NEXT
株式会社農経新報社	農経しんぼう
株式会社ファスニングジャーナル	ファスニングジャーナル
株式会社4X	UchuBiz
株式会社フォームタイムス社	フォームタイムス
株式会社不動産流通研究所	R.E.port
Future City Data Institute	Open Geospatial Japan
フリーランス	INTERNET Watch/準天頂衛星公式サイト
フリーランス	業界紙 環境系など
フリーランス（外国特派員協会加盟）	業界紙
防災プラス	ニュースレター、WEB防災情報新聞
毎日新聞出版株式会社	週刊エコノミスト
株式会社マスコミ文化協会	月刊サイン&ディスプレイ
MODECOM株式会社	MODECOM
横河レンタ・リース株式会社	TechEyesOnline
株式会社リックテレコム	月刊テレコミュニケーション／BUSINESS NETWORK
ワック株式会社	BS日テレ ガリレオX

項目		数量	内容	実施期間
ポスター			出展者ほか、協賛、後援団体に配布	2025年11月～
日刊工業新聞	社告・広告		全面、全5段、半5段	2025年11月～
	紙上レビュー		各出展企業の紹介	2025年11月～
電子デバイス産業新聞	広告		全5段	2025年11月
毎日新聞(東京版)	広告		15段	2026年1月
トレインチャンネル	動画広告		4展合同開催紹介動画	2026年1月～
その他のパブリシティ	Web		4 展合同Webサイト	2025年11月～
	SNS		公式SNSでの情報発信(Xなど)	2025年11月～
	動画サイト		YouTube広告	2026年1月～
	バナー		Yahoo!JAPAN広告	2026年1月～
			Google広告	2026年1月～
プレスリリース			新聞社、雑誌社、その他各種媒体へ案内	2026年1月
招待状	出展者用	約20万部	出展者に無料配布(封筒とセット)	2025年12月～
	主催者用		主催者送付 ・後援、協賛団体 ・日刊工業新聞社主催の展示会、セミナー来場者 ・都道府県会館 ・日刊工業新聞社発行「新製品情報」購読者 ・日刊工業新聞社、支社、支局 など	2025年12月～
Webサイト			・各展示会公式Webサイトにて 出展募集、来場募集を掲載 ・各主催団体のWebサイトにて情報発信	2025年7月～
メール配信	自社	約274万件 (計10回)	日刊工業新聞社主催の展示会来場者、セミナー聴講者へ 発信	2025年11月～
メール配信	ナノオプト・メディア	約6万件 (計2回)	来場促進	2026年1月
メール配信	日本測量協会	約1.2万件 (計5回)	出展募集、来場募集を掲載	2025年8月～

公式Webサイト



■ 国土交通省における報道発表

政策統括官及び国土地理院の連名により報道発表を行った。

配布先：国土交通記者会、国土交通建設専門誌記者会、国土交通運輸記者会及び筑波研究学園都市記者会

発表日時：令和7年11月26日

「G空間EXPO2026」を1月28日～30日に開催します！
～今年度のテーマは「G空間がつなぐ、広がる、未来が変わる」～

- 産学官民の連携により最新の地理空間情報※技術の活用や普及啓発を図るため、**令和8年1月28日～30日に「G空間EXPO2026」を開催**します。今回は15回目の開催となります。
- **基調講演では、宇宙飛行士の野口聡一さんに御登壇**いただき、「宇宙と地球がつながるG空間社会の未来へ」について語っていただきます。また、「イチBizアワード2025」の表彰式などの地理空間情報を活用した各種アイデアコンテストも開催します。みなさま奮ってご参加ください！

※地理空間情報（G空間情報）とは

「いつ、どこで、何が、どのような状態か」といった「位置」と「時間」とその関連情報であり、様々な社会活動を支える共通基盤です。G空間情報の活用により、新しいサービスや産業の創出に加え、自然災害や環境問題への対応、産業・経済の活性化、豊かな暮らしの実現につながる取組を目指します。

■ **開催日程等** ※同時開催：国際宇宙産業展、防災産業展、グリーンインフラ産業展

・日時：令和8年1月28日（水）～30日（金） 10：00～17：00

※1月21日（水）～2月13日（金）オンライン開催

・会場：東京ビッグサイト 東7、8ホール

・主催：G空間EXPO運営協議会 共催：日刊工業新聞社

〈主なイベント〉※添付資料「G空間EXPO2026 イベント概要」参照

・**基調講演**

宇宙飛行士、国際社会経済研究所CTO、IHIアカデミー長 野口 聡一 氏

・「**イチBizアワード2025**」表彰式（内閣官房地理空間情報活用推進室主催）

G空間の新時代を切り拓く多様なビジネスアイデアの表彰と紹介を行います



※そのほか、開催内容についての詳細は、以下のG空間EXPO公式サイトをご覧ください。

<https://www.g-expo.jp/>

【G空間EXPO公式サイト】

■ **入場登録等**

○ 御来場にあたりましては、事前に以下のサイトから入場登録が必要です（入場無料）。

<https://springfair.nikkan.co.jp/>

○ 取材を希望される方は、以下の取材申込フォームからお申し込みください。

<https://nikkankogyo.form.kintoneapp.com/public/springfair-press>

【入場登録サイト】

【取材申込フォーム】

【添付資料】 キービジュアル（ポスター）、「G空間EXPO2026」イベント概要、イチBizアワード2025概要



新聞・雑誌広告

防災・減災によるレジリエンス 社会の実現へ

防災産業展 2026

東京ビッグサイトで未来を見据えた展示会を

4展同時開催!

入場登録受付中!!

2026年1月28日(水)~30日(金)
10:00~17:00

東京ビッグサイト 東7・8ホール

入場登録費 無料(登録制)
入場券は別途必要
Eメール: info@geoexpo.jp

Geo Spatial Expo 2026
地理空間情報科学で未来をつくる

1月21日(水)~2月13日(金)
10:00~17:00

入場登録費 無料(登録制)
入場券は別途必要
Eメール: info@geoexpo.jp

Geo Spatial Expo 2026

地理空間情報フォーラム

2026年1月28日(水)~30日(金)
東京ビッグサイト 東7・8ホール

2026年1月21日(水)~2月13日(金)

【入場登録受付中!】

展示分野
 地図・人流データ Construction 都市・インフラ分野のDX
 先進技術・特許 GNSS(GPS) スマートシティ・アプリ 位置情報サービス

協賛企業
 防災産業展2026 グリーンインフラ産業展2026

主催
 日刊工業新聞社 株式会社 東京ビッグサイト 東京ビッグサイト 東京ビッグサイト

お問い合わせ
 TEL: 03-5544-7700 Mail: info@geoexpo.jp

全5・半5段広告を掲載

招待状(日/英)

The collage shows various invitation letters in both Japanese and English. The English letters include titles like "Disaster Prevention Industry Fair 2026", "Geo Spatial Expo 2026", and "Green Infrastructure Expo 2026". They specify dates (Jan 28-30, Jan 21-Feb 13) and locations (Tokyo Big Sight, East 7-8 Halls). The Japanese letters provide similar information in kanji and hiragana, often including QR codes for registration.

ポスター

Geo Spatial Expo 2026

地理空間情報科学で未来をつくる

G空間がつなく、広がる。未来が変わる。

1.28.~30. 東京ビッグサイト 東7・8ホール

1.21.~2.13. 東京ビッグサイト 東7・8ホール

<https://www.g-expo.jp/>

交通広告

- 埼京線・りんかい線トレインチャンネル広告
- ・放映期間：1月26日(月)~2月2日(日)
- ・放映路線：埼京線・川越線・りんかい線・相鉄直通
- ・4展示会合同開催紹介動画(15秒)



Web広告(リスティング)

【Google・Yahoo！】



Web広告(バナー)



動画広告 (YouTube)



東京ビッグサイト屋根付き屋外歩道バナー広告

- 掲出場所：「国際展示場駅」～「東京ビッグサイト」間 屋外屋根付き歩道（表裏・計4枚）
- 掲出開始期間：1月26日（月）～



【G空間EXPO】

地理情報サービス高度化

G空間EXPO開幕



災害対応・都市開発に活用



日刊工業新聞 2026.1.29

Geo spatial
G空間EXPO

紙上プレビュー①

最先端の地理空間情報の技術や製品・サービスなどを紹介する「G空間EXPO2026」(G空間EXPO運営協議会主催、日刊工業新聞社共催)が28-30日に東京ビックサイト(東京都江東区)で開催される。地理空間情報を高度に活用し、さまざまな社会課題の解決に貢献する「地理空間情報高度活用社会(G空間社会)」の実現に向け産学官民が連携。地理空間情報と衛星測位の活用を推進する。主要出展企業の展示内容を紹介する。

デジタルツイン利用事例紹介

Geolonia(東京都文京区)は、地理空間データを連携するプラットフォーム「デジタルツイン基盤」を提供している。同基盤を使った「どこでもナビゲーション」などといった自治体でのアプリケーション活用事例に加え、キン・ワードプレスを活用した業務効率化事例を展示し、位置情報の高度な実装例(イメージ)を提示する。

陸・海・空のデータ活用体験

エアロトヨタ(東京都江東区)は、地理空間情報に基づく「陸・海・空」のデジタルプラットフォームを紹介する。陸上の都市やインフラ、海・水域の状況把握、空からの新たなモビリティ、月の軌道図(イメージ)など、多様なデータ活用可能性の体験を提供。未来の社会実装に向けたエアロトヨタの取り組みを示す。

地理空間情報の高度活用支援

国際航業(東京都新宿区)が開発した「Geozen」は、地理空間情報の利活用を特化したプラットフォーム・エンジニアリング製品である。開発に必要なDevOps(デブオプ)基盤からGIS(地理情報システム)データまでを備え、開発を加速させる。MCP(モデル・コンテキスト・プロトコル)サーバー(イメージ)によるAI(人工知能)連携にも対応し、高度な活用を支える。

日刊工業新聞 2026.1.13

Geo spatial
G空間EXPO

紙上プレビュー②

衛星技術・コンサル連携など紹介

パスコ(東京都目黒区)は「豊かな未来社会を築く、パスコの空間情報技術」をテーマに、Project PLATEAU(イメージ)や衛星技術とコンシューマリングを連携させたソリューション、パスコが取り扱う衛星インフラなどを紹介する。また、社会課題に向き合うメディア「地球の学校」も展示する。

立体模型に地理空間情報を投影

アジア航測は赤色立体模型にさまざまな地理空間情報を投影するプロジェクションマッピングを展示する。建物の配置や地形を可視化し、立体的なツールとしての活用が期待される。今回は札幌市の赤色立体模型(写真)を用いて人口調査結果、改定された火災ハザードマップや避難計画、衛星画像などを投影する。

交通・防災の社会課題を解決

ゼーリンとセンリデータコム(東京都港区)は、高精度地図データや時空間・画像解析などの技術を生かし、交通・防災分野の社会課題解決に貢献する事業を紹介する。官民連携や自治体共創によるまちづくりに取り組み、地理空間情報(イメージ)を基盤に持続可能な未来社会の創造と新たな課題挑戦に挑戦する。

誤差数cmの高精度な測位実現

ソフトバンクとALES(東京都港区)は、GNSS(全球測位衛星システム)信号を活用した誤差数cmの高精度な測位を実現するRTRK(リアルタイム・キネマティック)サービス「Tichimill」(イメージ)の全公開を開始する。RRS方式に加え、公共測量の作業現場に準拠したG-VRSプランやダウンロード形式の地理空間データサービスなど、プロフェッショナルな測量ニーズに応えるサービスを提供中。全国の幅広いエリアでドローン測量や3次元(3D)点群データ、産業機器の自動化をサポートする。

日刊工業新聞 2026.1.16

Geo spatial
G空間EXPO

紙上プレビュー③

GNSS受信機など紹介

ロケーションマインド(東京都千代田区)は、機械学習を用いた人流分析事業や、車載データをリアルタイムに可視化したモニタリングシステムなどを展示する。また、位置情報利用の拡大に伴う、改ざん、誤差、精度不足といった信頼性の課題に対して、信号認証に対応したGNSS(全球測位衛星システム)受信機(写真)など次世代デジタル基盤を紹介する。

事象や組織内の動き可視化

GEOTRA(東京都千代田区)は、ビッグデータ(写真)を、特に人流データなどの位置情報とAI(人工知能)技術を生かして、世の中のさまざまな事象や組織内の動きを詳細に可視化・分析、シミュレーションを可能にしている。特に、ヒートマップ、車1台1台の高精度な人流を再現するデータ「GEOTRA Activity Data-イメージ」は、まちづくりや観光、交通、土木などのさまざまな分野で活用されている。

防災・減災の技術を紹介

中日本航業(愛知県豊田県)は、「レジリエントな未来社会を生み出すG空間」をテーマに最先端技術による安心・安全な社会の実現を目指す。航空機やドローン、MMS(モビリティマッピングシステム)を駆使した高精度な3次元(3D)計測から、衛星データやAI解析を統合した最新ソリューションまで、3Dモデルを活用するBIM/CIMを強力に推進し、土壌強固(こうじう)化や防災・減災に寄与する技術を紹介する(イメージ)。

森林内などで自己位置推定

ジオトップ(東京都大田区)は、「LiDAR SLAM」と「Visual SLAM」、IMU(慣性計測装置)を統合した可視化・レーザースキャナー「LIS600」利用(イメージ)を展示する。森林内や狭い空間などGNSSが利用できない環境でも安定した自己位置推定を実現し、高精度かつ高精度な3次元点群を取得可能。林業・インフラ点検・災害調査における実用事例を交えて展示する。

日刊工業新聞 2026.1.20

紙上プレビュー(4)まで実施

取材実績

テレビ報道

※報道機関に確認のうえ、掲載。転載禁止。

J:COM『ジモトピクス・プラス』
「防災産業展2026」
2026年2月9日(月)~2月13日(金)
平日 12時30分~・19時30分~ 放送

番組URL

https://c.myjcom.jp/jch/east_01/regular/jimotoplus_tokyo.html

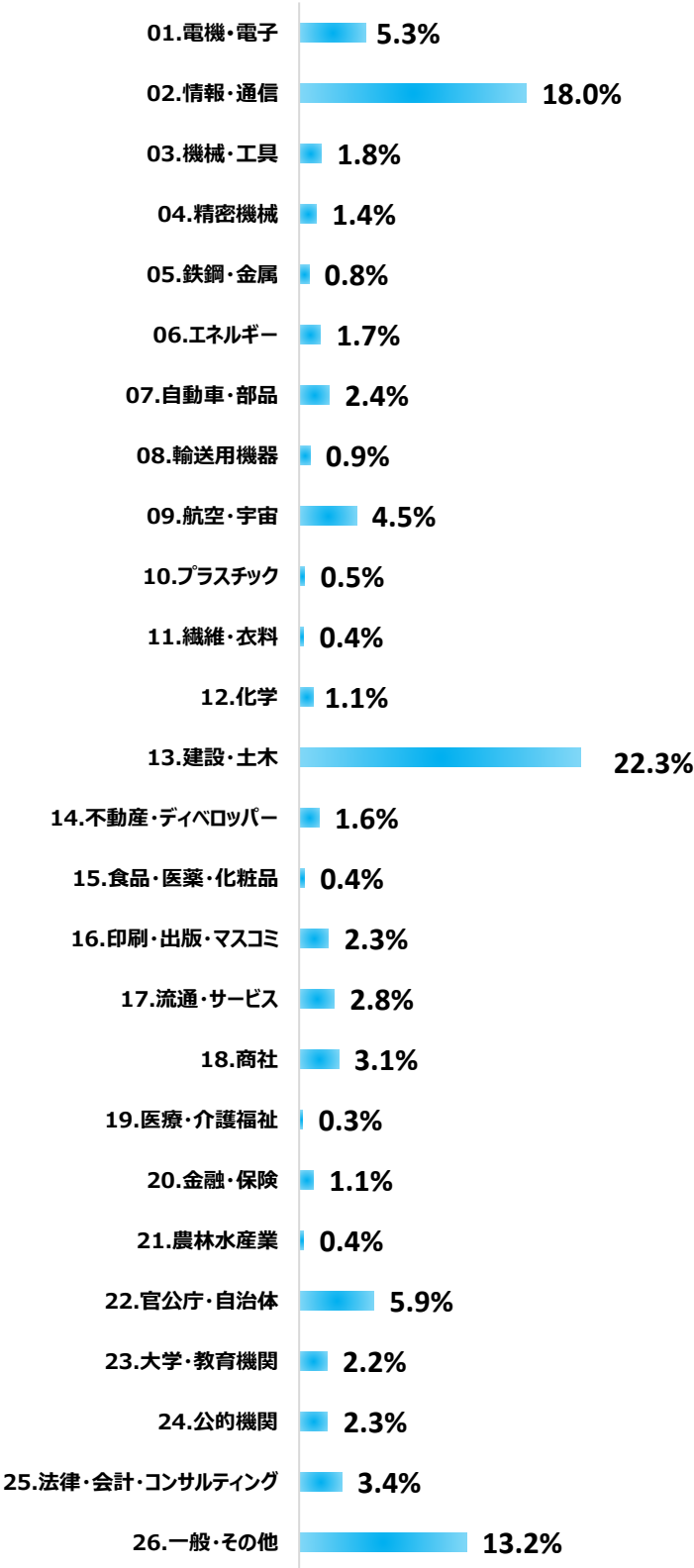


【G空間EXPO】来場者アンケート集計結果

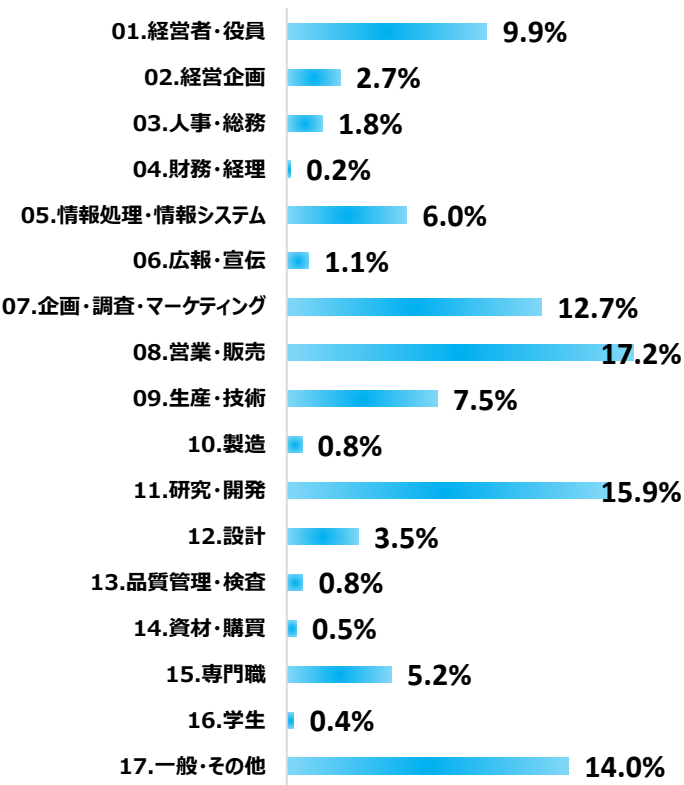


※端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。
※回答比率は回答者数を母数として算出しているため、複数回答設問では合計が100%を超えます。

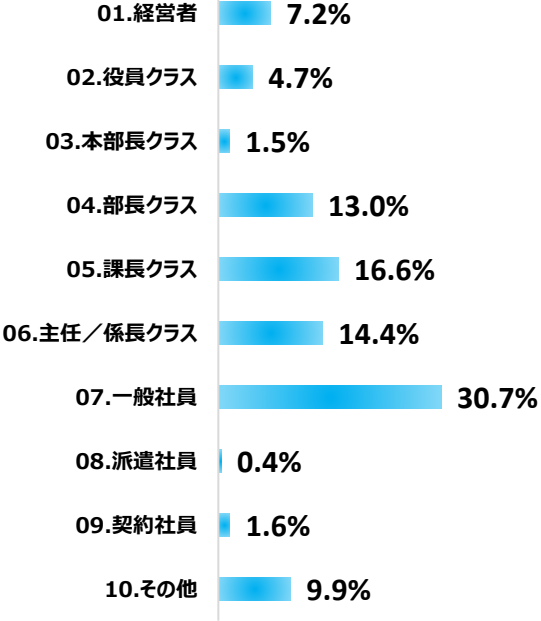
Q.1 業種の傾向



Q.2 職種の傾向

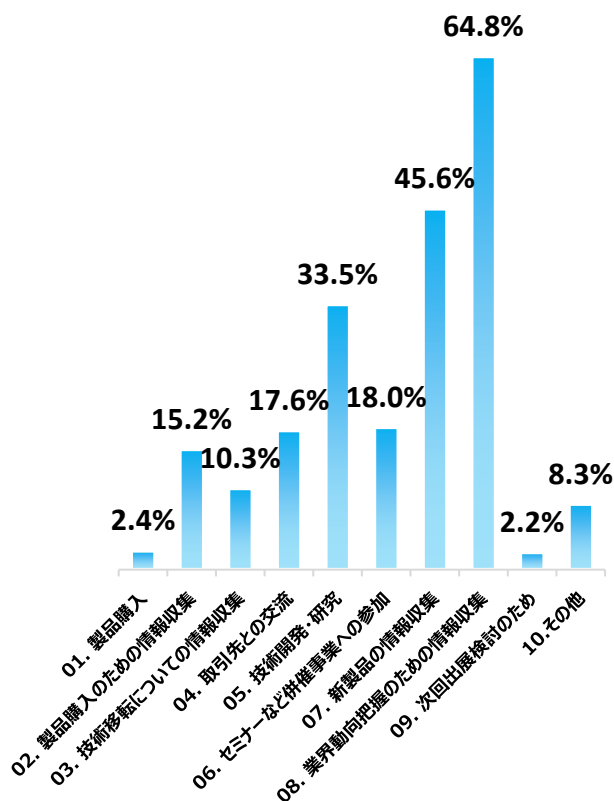


Q.3 役職の傾向

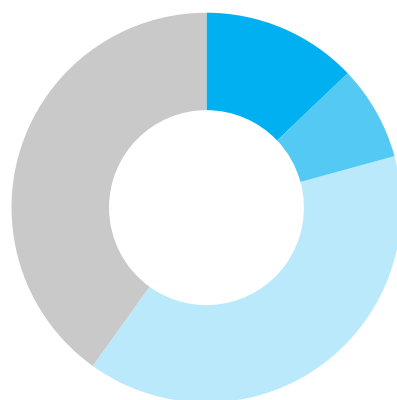


※端数処理の関係上、構成比(%)の計が100%とならないことがあります。
※回答比率は回答者数を母数として算出しているため、複数回答設問では合計が100%を超えます。

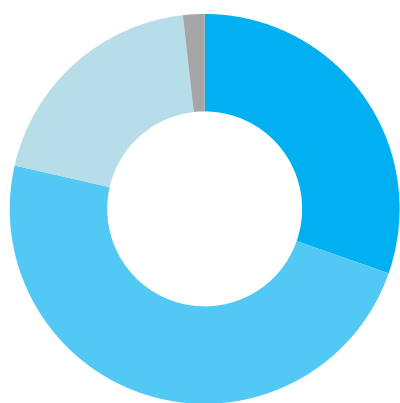
Q.4 来場目的（複数回答）



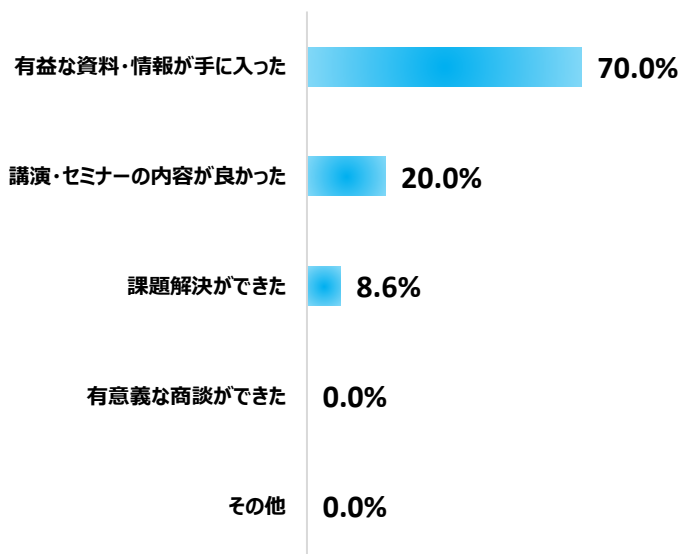
Q.5 製品・サービスの導入に関する関与度



Q.6 ご来場の目的は達せられましたか？



Q.7 「十分達成された」、「ほぼ達成された」、「やや達成された」とお応えの方は、その理由をご回答ください。（複数回答）



意見・感想

	17. 本展に関してのご意見(改善点、良い点など)をよろしければお書きください。
1	ロボット関連が少ないです
2	問題ありません
3	休息場所が欲しい
4	賑やかで良い
5	規模も展示もすごく良かったです。
6	メインステージの講演をふたつ見ましたが、聞き取りやすく見やすかったです。
7	プロジェクトヘイルメアリーグッズが当たるスタンプラリー
8	目玉商品の掲載
9	写真撮影が出来るようにお願いします。禁止な物はあるかと思いますが、そこだけを禁止にしてください。共有も出来なくて不便です
10	CPD単位の取得ができるようにしてほしい。
11	入場証のことで確認がありましたがインフォメーションスタッフの方が迅速丁寧に対応いただきました。マップも色別でわかりやすく、目当てのブースにすぐ行けました。休憩エリアがセミナー会場の横で少し落ち着かなかったですが、全体の満足度は高かったのでまた次回も申し込みたいと思います。
12	アンケートがもう少し回答しやすいフォームだとありがたいです。
13	最近では会場印刷も多い。入り口で面倒そうにスマホを操作している人が他の展示会よりも多く見受けられた。
14	今後も充実した展示内容を期待しています。
15	スタッフが談笑していて入りにくいブースが多々あった。もう少し、営業に力を入れる姿勢があってもよいと感じた。
16	JAXAのセミナーが興味深かった
17	見やすい展示であった
18	スッキリしていて良いです
19	同様の取り組みをしている複数社の展示があったので比較検討しやすかった
20	会場外に出ずとも飲食が調達出来るのは便利だった
21	nanotechと同一日に開催なら、お互いのサイトにちょっとでも情報がでればよかった
22	やはり入退場がスムーズに行かない事がある
23	会場内に休憩スペースのような座れる場所をもっと作って欲しいです。



G空間EXPO2026開催報告書

令和8年4月
G空間EXPO運営協議会事務局

日刊工業新聞社
イベント事業部
